



小松直蔵氏 勲四等に叙せられる



技術部地形課

元地質調査所技術部地形課長小松直蔵さんが 昭和49年度秋の叙勲で勲四等瑞宝章を授与され 11月14日その伝達式が行なわれました。心からお祝を申し上げます。



小松直蔵氏

小松さんは大正10年当時農商務省に所属していた鉱山局地質調査所（現在の地質調査所の前身）に入所されてから昭和36年職を辞されるまで 実に41年の永きにわたり一貫して地質調査所に献身されました。すなわち戦前は専門の測量技術をもって 台湾 中国大陸の鉱産資源の開発に参画した日本の油田 炭田の調査に多大の成果をあげられました。第2次世界大戦中は多くの調査員が南方に派遣されて技術者の不足をきたした結果 商工省地質調査所技術員養成所が設立されるや その講師に任命され 卓越した知識と技術をもって 指導と育成に貢献されるとともに 昭和19年空襲もいよいよ苛烈となり 地質調査所が東北 中国 九州と各地に疎開した際も東京分室にとどまりその業務を完遂されました。昭和23年測図課長補佐になられ ついで昭和28年北海道支所が設立されるとともに その初代技術課長に任命さ

れ 課の使命 業務を確立するとともに北海道における地下資源開発に多大の貢献された功績は大きく 高く評価されております。昭和36年本所地形課長に任命され 短期間にもかかわらず課の近代化と課員の指導に努力されました。

小松さんは温好 篤実のお人柄でとくに思い出されることは 昭和21年の戦後の荒廃混乱した世相のなかで燃料資源緊急開発の要請に答えるべく 自ら陣頭に立ち調査員の食糧 物資等の確保に東奔西走されました。調査員が心おきなく活動し多大の成果をあげ得た蔭にはこのような小松さんのお努力があったことを 忘れることはできません。

現在はひざを患われ自宅で療養中で 伝達式には民恵夫人が代理として出席されました。そのあと地質調査所に見えられ 所長はじめ関係者にも挨拶されました。お祝に参上した際は お元気で昔の調査における苦心談や思い出をなつかしそうに語っておられました。一日も早い全快を祈ってやみません。

自 宅 杉並区成田東1-48-7
電話 (03) 312-5569

